

目次 Contents

- 02 今月の焦点
みんなで守り育てる公共交通
- 05 奥河内くろまろの郷通信
- 06 情報 PICK UP
 - ・地方創生のアイデアを募集
 - ・市内で使えるプレミアム商品券を販売
 - ・6月から子ども服の持ち込み回収を開始します
 - ・いきいきまちづくりフォーラム
- 08 教育立市宣言シリーズ
- 09 市政と関連情報 モックル生活ガイド
 - 人権 09、暮らし 09、安全安心 12、フォト 13、健康 16、高齢者 16、障がい者 17、子育て 20、税金 23、保険年金 23、その他 09・10・23
- 14 シリーズ人権連載
- 15 かわちながの ものづくり探訪
- 18 フォト特集 第23回河内長野市民まつり
- 22 フォトニュースかわちながの
- 26 情報プラザ
 - お知らせ 26、講演・講座 27、展示・催し 30、スポーツ 32、募集 33、相談 34
- 35 くろまろ塾情報コーナー
- 36 食きらりレシピで笑顔の食卓育もう

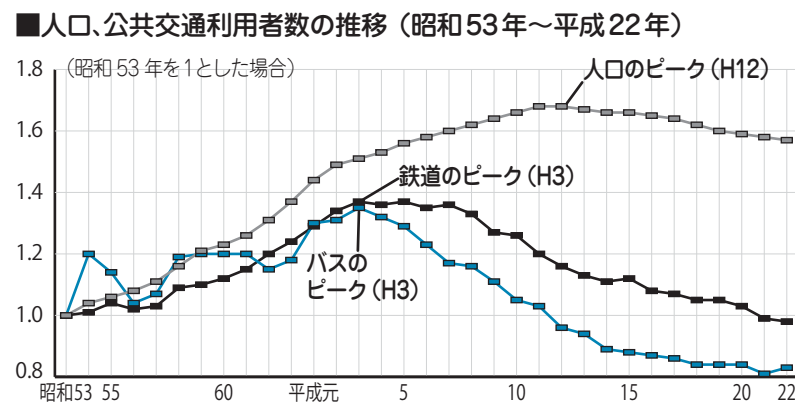
●掲載情報の見方

対象の記載がないものは市内在住・在学・在勤者（保健センターの事業は市民）が対象▶催しなどで費用の記載がないものは無料▶申し込みが必要な催しなどの持ち物は主催者からの連絡などで確認を▶先着順の申し込みで時間の記載がないものは午前9時から受付▶申し込み・問い合わせなどで住所・電話番号の記載がないものは市役所へ（業務日・時間は月～金曜日午前9時～午後5時30分、祝休日・年末年始を除く）
 ●環境への配慮から、催しなどへの来場はできるだけ公共交通機関のご利用を。

市民大学くろまろ塾・くろまろキッズの認定講座や催しにはこのマーク	 くらまろキッズ (小中学生対象)
市役所: 〒586-8501 (住所不要) ☎ 53-1111 (代表)	



公共交通の危機と現状とこれまでの取り組み



市内のバス・鉄道利用者は平成3年をピークに減少傾向が続いています。また、人口も平成12年をピークに減少に転じており（上グラフ参照）、今後も厳しい状況が続くものと考えられます。

交通事業者は、利用者が減り続けると収支が悪化するため、利用の少ない路線の減便や廃止などを検討しなければなりません。もし公共交通が無くなれば、現在利用している人はもちろん、今は必要としない人も、いずれ車を運転できなくなったときや、家族の通勤・通学などで、不便な生活を強いられることになってしまいます。

●今月の焦点 みんなで守り育てる公共交通
 乗って 出掛けて
 わがまち元気に！

人口減少やマイカーの普及などの影響で、バスをはじめとした公共交通は利用者の減少傾向が続いています。一方で、車を運転できなくなった高齢者や学生にとって、唯一の移動手段というケースも多く、高齢化の進展に伴い、その必要性はさらに高まっています。買い物や通院などに必要な移動手段をどう確保していくか――。活力ある地域社会を維持するために避けれられない課題となっています。

問い合わせ 都市創生課

持続可能な公共交通を目指して

市では、平成20年度に策定した「公共交通のあり方」に基づき、平成21年度以降、地域公共交通総合連携計画（第1期・第2期）を定め、持続発展できる公共交通の確保に努めてきました。また、平成21年度からは、市や関係機関などで組織する地域公共交通会議を設置し、同計画に基づく事業の実施などについて協議を進めています。

■第3期目となる「地域公共交通網形成計画」を4月に策定

新たに策定した地域公共交通網形成計画に基づき、「将来のまちづくりを支えるための公共交通サービスの提供」「公共交通サービス水準の向上」を目標に、「元気なまち」を目指して、引き続き様々な取り組みを展開していきます。※計画の詳細は市ホームページに掲載しています。

公共交通を守るためにできることってなんだろう？



バスの利用促進

公共交通を確保するために

第2期計画での主な取り組み

第2期地域公共交通総合連携計画で交通事業者との協働により実施した主な取り組みを紹介します。

① バスマップの作成・配布

平成25・26年度にバスの便利な使い方などを提案するバスマップを作成しました。25年度は自宅保存版として全戸に配布。26年度は携帯性を重視して情報を集約したものと、公共施設や観光施設などで配布しました。

② バス旅ガイド（チラシ）の作成・配布

観光・商業施設との連携によりバス旅ガイドを作成し、駅や観光案内所、公共施設などで配布しました。





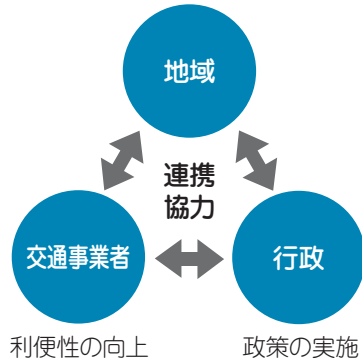
写真は楠ヶ丘公共交通対策委員会会議の様子

公共交通について一緒に考えてみませんか

地域公共交通の発展に向けて、現状を把握し、問題点を整理したり、解決策を検討したりする勉強会の開催を希望する団体を募集します。

対象 自治会・町会など（個人は除く）
申し込み・問い合わせ 6月30日までに電話で都市創生課へ

利用促進に対する理解



公共交通の維持・発展は、単に移動手段の確保にとどまらず、まちづくりや観光、健康、環境など様々な分野で大きな効果をもたらすことが期待されます。地域、交通事業者、行政がそれぞれの立場から互いに連携・協力し合いながら、公共交通を守り育てていきましょう。

みんなの協力で守り育てよう



昔は市内でも見かけられた小麦を新たに栽培し、奥河内くろまろの郷でパンにしようという試みが、市内の農家の協力で始まっています。今年試験的な栽培ですが、3月に種をまき、現在順調に育っています。6月の収穫

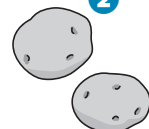
かわちながの小麦だより

奥河内くろまろの郷
Kuromaro Village
 通信
 VOLUME 2

問い合わせ 奥河内ビジターセンター
 (奥河内くろまろの郷内、☎ 56-9606)

野菜のママ知識② ジャガイモ

ジャガイモは南アメリカ原産のナス科作物です。春作と秋作の2回栽培されることから、2度イモとも呼ばれており、春作は男爵、メークイン、キタアカリなどの品種が作られています。最近では黄色、白色のほか、紫色やピンクなどカラフルなジャガイモも栽培されています。



■半夏生・七夕まつり
 昔から7月初旬に、農家では半夏生という、餅をついた

エリアのイベント情報

半夏生・七夕まつり

奥河内くろまろの郷へは河内長野駅前からバスも運行
 日野・滝畑コミュニティバスの一部が乗り入れています。バス1日乗り放題モックルカード利用者には同施設でのお得な特典もあります。来場には、ぜひバスもご利用ください。
問い合わせ 南海バス(株)河内長野営業所 (☎ 53-9043)、都市創生課

り、タコを食べたりして、田植えが終わったお祭りをする習慣があります。奥河内くろまろの郷でこの習慣にならったイベントを開催します。
とき 7月4日(土)午前9時30分～午後2時
ところ あすかてくるで河内長野店ほか
内容 若手農家による地元特産品のナス・ブドウの即売やもちつき大会、七夕の笹のブレゼントなど
 ※この催しに関する問い合わせはJ A 大阪南営農指導課 (☎ 80・3386) へ。

地域の公共交通は地域で守る

「地域の公共交通を何とか実現したい」——。そんな思いで、委員会を設置したのが始まりです。大阪第一交通(株)、市の三者で協議を進める中でいただいた乗合タクシーの試行運行のチャンスが無駄にしたいと、地域が主体となって、利用を促す看板の作成・設置や、駅前でのPR活動などに取り組んできました。

こうした努力が報われ、本格運行が実現したときの喜びは忘れることができません。その後も、啓発のぼりを設置したり、お得な回数券を販売したり…。地域で何かするたびに、少しずつ利用が増えていった実感があります。

現在、利用者数は順調に伸びていますが、大切なのは今後も運行を継続していくことです。「地域の公共交通は地域で守る」という意識のもと、一人でも多くの人に乗車してもらえよう、三者で協力しながら、地域が主体となった取り組みを続けていきたいと考えています。



楠ヶ丘公共交通対策委員会（左から）金山元治さん、井内義光さん、塚本幸乃さん



▲運行にはジャンボタクシー車両を使用

「坂道が多く道が細いため、バスが通れない」「高齢化が進んできた」などの課題を抱えていた楠ヶ丘地域。これらを解決するため、同地域内で公共交通の委員会が設置され、大阪第一交通(株)、市との協議を行ってきました。そして平成22年9月から3か月間、同地域と三日市町駅



▲地域で募集したキャラクター

を結ぶ乗合タクシーの試行運行を実施。地域の積極的な活動によって、平成23年11月から楠ヶ丘地域乗合タクシー「くすまる」の本格運行が始まりました。

乗合タクシーを運行し楠ヶ丘地域

公共交通空白・不便地域の解消

地域主体の取り組み①

大切なのは住民の熱意

「便利になりました」。フリー乗降の利用者からは感謝の声を聞いています。

坂道が多く、高齢化が進んでいる地域だけに、移動は大きな課題で、バスには利便性の向上が求められます。その解決策の一つがフリー乗降の導入でした。地域内を通り抜ける車両がない荘園町で実施されていることを知り、同条件にある私たちの地域でもできないかと市に相談。明日は我が身の思いで、できるだけ上り坂を回避して乗降できるよう、南海バス(株)と協議を重ね、自治会に提案し、実現することができました。



市の協力もあってできたことですが、大切なのは住民の熱意です。地域が一生懸命にならないと事業者の協力を得ることはできません。これからも地域のみんなが一体となって、地域の課題解決に取り組むことが重要であると思っています。

亀井 敬二さん（南青葉台在住）

フリー乗降を導入し南青葉台地域

利便性の向上・高齢者支援

地域主体の取り組み②

バス停留所以外でも路線上の任意の位置でバスに乗降できるフリー乗降制度。平成23年度に同制度を導入した荘園町に引き続き、平成25年10月26日から南青葉台地域でも実

施しています。

※フリー乗降導入区間でも、交差点内や見通しが悪い場所では乗降できない場合があります。



市内で使える プレミアム商品券を販売

市内で使えるプレミアム商品券「奥河内かわちながの夢かあど」を販売します。商品券は1冊1万円で、プレミアムとして2000円を加算し、1万2000円分（小型店専用1000円×6

枚、小型店・中大型店共通1000円×6枚）の利用が可能で、一人5冊まで購入できます。
利用できる期間 平成27年7月24日（金）～10月31日（土）
販売総数 3万7500冊（応募者多数の場合は抽選）
購入方法 6月20日の新聞折り込みチラシ付属のはがきで6月30日（消印有効）までに▽往復はがきでも申し込みできます（詳しくは問い合わせを）
 ※同チラシは6月20日から市内取り扱い店舗や市役所などにも設置するほか、かわちながの夢かあど公式サイト（kawachinagano-yumecard.com）にも掲載します。
 ※商品券の引き換えは7月24日（金）から市役所などで。
■プレミアム商品券の取り扱い店舗も募集
 詳しくは奥河内「かわちながの夢かあど」事務局へ問い合わせを。
問い合わせ 同事務局（市商店連合会内） ☎54・5686

元気であり続けるまち 河内長野を目指して 地方創生のアイデアを募集

問い合わせ 政策企画課

昨年12月、国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に向け、本格的な取り組みを開始しました。
 「地方創生」とは、日本の少子化・高齢化に伴う都市の衰退という課題に対して、国と地方が一体となって「しごと」と「ひと」の好循環をつくり、「まち」を活性化しようというものです。
 本市でも、人口減少や少子・高齢化が急速に進行すると予測される中、人口減少に歯止めをかけ、まちの活性化を図るための方策を検討したうえで、「河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間は平成27年度から平成31年度までの5か年）」（以下「総合戦略」）を今年12月頃に策定する予定です。
 そこで、総合戦略を策定し、地方創生を進めていくため、市民のみなさんからのアイデアを広く募集します。

■募集テーマ

- ①「まち創生」
 ◎安全で安心感の高い、これからの時代に合ったまち（地域）をつくるアイデア（開発団地や山間部の人口減少、公共交通、防災、防犯、広域連携など）
- ②「ひと創生」
 ◎若い世代の希望をかなえ、市内居住者を増加させるアイデア（結婚、妊娠・出産、子育て支援、労働環境の向上、教育の充実など）
 ◎移住・定住しやすい環境を整え、市内居住者を増加させるアイデア（移住・定住、U・J・Iターンなど）
- ③「しごと創生」
 ◎本市の特徴や資源などを活用し、安定した雇用を創出するアイデア（商工業・農林業・観光の振興、ブランド化、雇用創出、起業支援など）



■応募方法

住所、氏名、連絡先、応募するテーマ、提案内容を記入して（任意様式）6月20日までに政策企画課へ（郵送・ファクス・電子メール可）。
 ◎アイデアの採用結果は、市ホームページに公表することをご本人への通知に代えさせていただきます。
 ◎提案されたアイデアに修正を加えることがありません。
 ※詳細は市ホームページをご覧ください。

アンケート調査にご協力

総合戦略とその検討の基本となる人口ビジョン（2060年（平成72年）まで）の策定に向け、市民の結婚・出産・子育ての希望、地方移住に関する希望などのニーズを把握するために、5月下旬にアンケート（16歳～39歳の市民から無作為に1500人を抽出）を送付していますので、ご協力をお願いします。

〈参考〉人口ビジョン・総合戦略とは

（1）人口ビジョン

市の人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する基本認識の共有を図り、目指すべき将来の方向を示す長期的な人口ビジョンとして策定します（2060年（平成72年）まで）。

（2）総合戦略

人口ビジョンを踏まえ、将来にわたって活力ある地域を維持するため、産業振興による雇用の創出や地域資源を生かした交流促進、出産・子育ての希望が実現できる環境整備などにより定住・転入促進を図るとともに、市民が潤いある豊かな生活を安心して営むことができる地域づくりを一体的に推進するための計画として策定します（計画期間は平成27年度から平成31年度まで（5か年））。

6月から子ども服の 持ち込み回収を開始します みなさんのご協力をお願いします

ごみの減量とリユース、子育て支援を推進するため、6月から子ども服の持ち込み回収を開始します。市民のみなさんから提供いただいた子ども服は今後、希望者に無料でお渡しする催しを開催していきます。日程などは今後の本紙などでお知らせします。



対象 市民
持ち込みできるもの 70センチ以下の子ども服（Tシャツ、トレーナー、セーターなどの上着、スカート、ズボンなど）で洗濯済みのもの
 ※破れや大きなシミのあるもの、汚れのあるものは回収できません▽肌着、下着、靴下、トレパン、よだれかけ、おむつ、おむつかぶりなどは新品・未使用品に限り回収します。
持ち込み方法 ①月～金曜日（祝休日を除く）の午前9時～午後5時30分に環境衛生課へ ②土・日・祝日（水曜日を除く）の午前10時～午後5時30分に子ども・子育て総合センターあいくっへ
問い合わせ 環境衛生課

いきいき まちづくり フォーラム

■今日からはじめる「つながり」健康法
 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりについて考えます。
 とき 7月5日（日）午前10時～正午
 ところ キックス
 内容 医師で人のつながりと健康の研究をしている東京大学大学院准教授の近藤尚己さんの基調講演など
 定員 280人（先着順）
 申し込み 6月5日から電話で市民協働課へ
 問い合わせ 市民協働課 自治振興課、いきいき高齢課





人権

6月23日～29日は
男女共同参画週間

内閣府では男女共同参画社会の形成を目指しています。そこで、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念に関する国民の理解を深めるため、「男女共同参画週間」を設けています。この週間に合わせて、市では次のとおり講演会を開催します。

■男の女子力、女の男気
私のチャレンジャー人生

前尼崎市長の白井文
さん(写真左)が講演します。



とき 6月28日(日)午後1時30分～3時20分
ところ キックス
定員 220人(抽選)
※1歳～就学前の子どもの一時保育あり(定員10人▽抽選)
申し込み 往復はがきに住所・



学びを支える Only かわちながの 放課後子ども教室 子どもたちの「生きる力」を地域から

市では、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりのため、「放課後子ども教室」を開催し、「地域の子どもたちは地域で育てる」仕組みづくりを進めています。平成26年度は、20を超える地域・ボランティア団体が協力、市内の全13小学校で年間延べ176回開催しました。ここでは、その一部を紹介します。

問い合わせ 青少年育成課(キックス内、☎54-0005)

TOYクラブのみなさん

子どもたちと一緒に伝承のおもちゃを作ることを通して、世代間の交流を図ることを目的に活動。



昔ながらのおもちゃ作り。子どもたちには、とても新鮮。

Halau O Lilinoeのみなさん

子どもたちに、気軽にハワイアンフラを楽しんでもらいたいという思いから活動。



フラダンスを通して、ハワイの文化も楽しく学びます。

高向マジック倶楽部のみなさん

子どもたちに楽しみながらマジックに興味を持ってほしいという思いから、各学校や福祉施設などで活動。



子どもたちは、様々な種類のマジックに興味津々。

小山田小学校 学校支援ボランティアのみなさん

昔ながらの手仕事や工作などを通じ、子どもたちと共に遊び、つながることを目標に活動。



地域の材料を使って、しめ縄作りを体験。

■他にもたくさんの地域・ボランティア団体のみなさんにご協力いただいています

ゆめ☆まなびネット、おはなしポケット、南花台メリーゴーランド、河内長野・大阪狭山地区更生保護女性会、朗読サークルみち、おはなしのとびら、男談、河内長野市地域女性団体協議会、アートコミュニティ、日本レクリエーション協会、各小学校区保護者のみなさんなど。

しないさせない就職差別

■6月は就職差別撤廃月間です
就職の面接で、家族の出身地や職業、思想・信条などについて質問することは、本人に責任のない事項や本来自由であるべき事項で応募者を判断することになり、就職差別につながるおそれがあります。就職の機会均等を保障することの大切さについて、みなさんのご理解をお願いします。

■就職差別110番

とき 6月17日(水)～19日(金)午前10時～午後6時
相談電話 (☎06・6210・9518)
※電子メール(roseig04@shox.pref.osaka.lg.jp)でも相談を受付▽期間は6月30日まで。

問い合わせ 府雇用推進室
(☎06・6941・0351)

暮らし

カラカラで
蛇口に飛び込む僕らの口

■6月1日～7日は水道週間

水道週間は、市民のみなさんに水の大切さを知ってもらい、水道への理解と関心を高めてもらうことを目的に、昭和34年に設けられました。期間中、全国的に水道に関する様々な広報活動が行われます。市では、次のとおり河内長野ウォーター(写真下)の無料配布を行います。今後とも市の水道事業にご理解とご協力をお願いします。

■河内長野ウォーター無料配布

とき 6月4日(木)～5日(金)午前9時～午後5時30分
ところ 市役所
※1人につき500ミリリットル2本まで。
問い合わせ 経営総務課



元本市非常勤嘱託員が使途不明金を発生させた事案について(お詫び)

市立小山田コミュニティセンター・地域福祉センター(あやたホール)の指定管理者である同管理運営委員会の会計処理で、元本市非常勤嘱託員が平成24～26年度の3年間にわたり、約207万円の使途不明金を発生させました。市民の信頼回復に努めている中でこのような事案が発生し、市民の皆様には深くお詫び申し上げます。

今後は、市および指定管理者で会計事務の点検の強化や役割分担の明確化など対策を講じてまいります。なお、使途不明金については、全額返済されています。

問い合わせ 自治振興課、いきいき高齢課



ハチの被害にあわないために

ハチは、作物の受粉や害虫の駆除などに役立つ、農業上欠かせない益虫です。人がいたずらなどで触らない限り、ハチから刺すことはありません。誤って巣に触れてしまうような低い場所以外では、ほとんど危険性はないので、できるだけそのままにしておきましょう。冬になると巣は空になり、翌年再利用されることはありません。



■ハチに刺されないために
◎巣に不用意に近づかない。
◎まとわりついてきたら、追いついて静かに逃げる。
◎黒くて光るものを標的にするので、黒っぽい服を避ける。
■市ではハチの巣の駆除は行っていません
駆除方法などについては、環境衛生課へお問い合わせください。
問い合わせ 環境衛生課

もえないごみ・粗大ごみの収集

もえないごみ・粗大ごみは、金属類と金属類以外のごみの2種類に分けて収集しています。それぞれの収集時間に違いがありますのでご注意ください。
問い合わせ 環境衛生課

ライトダウンキャンペーンを実施

市では、環境月間の取り組みの一つとして、一斉に照明を消すライトダウンキャンペーンを実施します。みなさんの家庭や事業所でも照明を消して、地球環境のために何ができるかを考えてみませんか。



消灯を呼びかける日時 6月24日(水)午後8時～9時
問い合わせ 環境政策課

光化学スモッグにご注意を

光化学スモッグが発生しやすいシーズンです。府では、光化学スモッグ予報や注意報を発令時に注意を呼び掛けています。発令情報は、府ホームページや携帯電話のメール配信サービス (<http://www.cds.osaka-bousai.net/pre/PreventInfoMail.html>) で確認できます。
問い合わせ 府環境保全課 (☎06・6972・7632)

リサとクルルと一緒に考える地球のこと

とき 7月4日(土)午前10時～午後4時
ところ ラブリーホール
内容 環境講演・落語、環境展示、体験コーナーなど
■環境紙芝居声優体験
対象 小学5年生以上
定員 10人(先着順)
申し込み 6月5日から電話

下水道整備で快適な生活環境づくりを

16・64鈔で下水道の供用を開始
問い合わせ 経営総務課または下水道課



排水設備工事は3年以内に

市では、快適な生活環境づくりを目指して公共下水道の整備を進めています。6月1日から新たに、市町、小山市、楠ヶ丘、小塩町、東片添町、西片添町、加賀田の各一部の区域(16・64鈔)で供用

を開始しました。

下水道の供用区域になると、供用開始の日から3年以内に排水設備工事(くみ取り式トイレを水洗トイレに改造したり、浄化槽を廃止して直接下水道に流すよう切り替えたり、工場などの排水を下水道へつないだりといった工事)をしていただく必要があります。

排水設備工事は市指定業者で

各家庭の排水設備工事は、市が指定した排水設備業者以外ではできないことになっています。現在、191社が指定されています(一覧表は下水道課に備えてあります)▽市道課に備えてあります▽市ホームページにも掲載。指定業者は、改造工事の見積りから設計、施工、市への各種申請手続きなどを、みなさんに代わって行います。

工事には援助制度のご利用を

供用開始の日から3年以内に排水設備などの改造工事をした世帯は、工事費用の負担を少しでも軽くするための援助制度が利用できます。詳しくは経営総務課へお問い合わせを。

排水設備は大切に

排水設備には、集排水機能のほか下水道本管から悪臭や害虫が入らないようにする機能もあります。これらの機能を低下させることなく、長期間使用できるように、次のことを守ってください。

■手入れの方法

①3か月～半年に一度は、ますを開けて定期的な点検を。汚れがひどい場合はブラシでこすったり勢いよく水をかけたりして掃除をしてください。

ウメ、モモなどの樹木調査を実施

市内でウメ輪紋病の発生が確認されたため、ウメやモモなどの樹木を調査します。調査対象となる地域では、6月から8月まで国の職員や府が

まちの未来を市長と話しませんか

■「市長まちかどトーク」参加団体を募集

対象 市内で活動している10人以上で参加できる団体
※より多くの団体に参加いただくため実施済みの団体は申し込みできません。

内容 市政の取り組み説明(30分)と質疑応答(30分以内)、意見交換(55分)

申し込み 都市魅力戦略課にある申込用紙(市ホームページからもダウンロード可)で来月3月31日までに同課へ
※市政に対する互いの理解を深め、今後の市政に反映させるための意見交換です。

※団体が希望する曜日や時間帯を考慮して後日日程調整します▷会場は原則として団体で確保を(集会所や公民館、学校など)。

問い合わせ 都市魅力戦略課

下水道本管が詰まる事故が多発

下水道本管が詰まる主な原因として、次のものが挙げられます。

- ◎トイレットペーパー以外の紙(他の紙は水に溶けません)
- ◎紙おむつ、ビニール類、新聞紙、生理用品、布類、ティッシュペーパー
- ◎油類、野菜くず
- ◎生ごみ粉碎機を使って細かく砕いた生ごみ
- ◎揮発性の高い油や薬品類(爆発事故や有毒ガス発生の原因となり、下水処理場での処理が困難になります)
- これらの「水に溶けないもの」を流すと、下水道本管などが詰まって家庭の排水設備に逆流することになり、下水道が使用できなくなります。
- また、衛生面で多くの住民に迷惑や不便をかけることになりかねません。下水道には、これらのものは絶対に流さないでください。

みんなでリサイクル

●ペットボトルなどの回収

ところ	ペットボトル	飲料用紙パック	発泡スチロールトレイ
イズミヤ河内長野店	●	●	●
サンブラザ三日月駅前店	●	●	●
サンブラザ河内長野店	●	●	●
西友千代田店・生鮮市場ばんばん	●	●	●
オークワ河内長野店	●	●	●
関西スーパー河内長野店	●	●	●
松源河内長野店	●	●	●
コノミヤ南花台店	●	●	●
デイリーカーナートはやし美加の台店	●	●	●
いずみ市民生協河内長野支所(毎月第3金曜日午前10時～正午)	—	●	—

★回収時間は業務時間中(いずみ市民生協河内長野支所を除く)。
★回収ボックスに汚れたままのものや異物を入れないでください。

●食用廃油の回収

ところ	6月	7月
千代田公民館	8日	13日
南花台公民館	18日	16日
高向公民館	—	15日
加賀田公民館	12日	—
三日月公民館	26日	—
くすのかホール	—	27日
あやたホール	22日	—

★回収時間は午前10時～11時▷千代田・南花台公民館は午前11時30分まで。
★エンジンオイルなどの鉱物油は絶対混入しないでください。
★食用廃油回収協力店を募集中▷協力いただける店舗は環境政策課へご連絡ください。



道路や側溝に物を置かないで

玄関や駐車場と道路の段差を解消するために乗り上げブロックや鉄板、コンクリートなどを設置したり、道路側溝の上に植木鉢やコンクリートの階段などを設置したりするケースが見受けられます。これらの行為は、道路法に違反するだけでなく、歩行者やバイク、自転車の転倒事故などの原因にもなりかねず、設置者の責任を問われる場合があります。また、雨水の流れを止めてしまい、道路排水機能を損ねることにあります。

道路との段差を解消するには、切り下げ工事（道路法などに基づく申請が必要▽工事費などは自己負担）などを行ってください。

問い合わせ 道路課

アドプト・ロードおよび違法広告物追放推進団体を募集

アドプト・ロード制度とは、道路の一定区間で清掃などを自主的に行う自治会や企業などの団体を支援する制度です。

防犯声かけ運動参加登録者を募集

■ウォーキングをしながら気軽に防犯活動

市では、安全・安心なまちづくりを進めるため、市民による「防犯声かけ運動」を実施しています。これは個人で気軽にできる防犯活動として、朝夕のウォーキングなどで出会った人に声をかけ、顔見知りを増やすことで、地域の連携を強め、犯罪の抑止力



フォト



◎衛星携帯電話を寄贈

4月22日、本市と災害時の協定を締結している株式会社セルビスから衛星電話2台が寄贈されました。寄贈いただいた携帯電話は災害時の貴重な連絡手段のひとつとして活用する予定です。



◎高野街道に新スポット誕生

4月24日、三日市町駅近くの高野街道の一面で「歴史の道みどりの拠点」の除幕式がありました。これは三日市小学校区まちづくり協議会（竹鼻良介会長）が財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の補助を受けて整備したもので、石灯籠の周りには、ベンチや説明板が設置され、サルスベリの植樹もされました。

ロマオイル、防水スプレー、消毒用アルコールなど、身近なところにも危険物があり、取り扱いや保管方法を誤ると、大変危険です。身の回りにもある危険物についてもう一度確認し、正しい取り扱いや保管に努めましょう。

■セルフの給油は正しい方法で

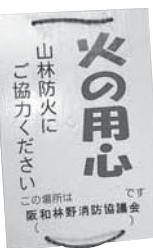
セルフ方式のガソリンスタンドでは、給油手順や設備の取り扱いを誤ると、思わぬ事故が発生することがあります。次のことを守って正しい方法で給油しましょう。なお、給油方法が分からない場合は、従業員の説明を受けてください。

- ▼エンジンを停止する
- ▼キャップを開ける前に静電気を除去シートに触れる
- ▼給油ノズルの操作は正しくしつかりと
- ▼給油の継ぎ足しはしない
- ▼給油キャップの締め忘れに注意を

問い合わせ 消防本部予防課
(☎53・3699)

山間部での消防・救急・救助活動にご協力を

消防署では、金剛・岩湧山系の主なハイキングコースに防



火杭や防火標語看板（写真右）を設置しています。これらには場所を特定するための番号が書かれています。山間部で事故や火災などを発見し通報される場合は、この番号やGPS・Nコードなども併せてお知らせください。速やかな活動ができるよう、みなさんのご協力をお願いします。

問い合わせ 消防署
(☎53・5681)

6月は土砂災害防止月間です

梅雨や台風の時期には、長雨や集中豪雨などでがけ崩れや土石流などの土砂災害が発生する恐れがあります。

災害を未然に防ぐことは大切ですが、なくすことはできません。発生した時に被害を最小限に食い止めることができるかどうかは、みなさん一人ひとりの行動にかかっています。日頃から災害に対して十分に備え、地域の防災訓練などに積極的

を取り付け、ワイヤー錠などで二重施錠をする。

◎防犯登録をする。

※防犯登録に関する問い合わせは大阪府自転車商防犯協力会（☎06・6629・0750）へ。

■特殊詐欺が増加しています

「レターバック、宅急便で現金送れ」はすべて詐欺

昨年特に「架空請求詐欺」が増加しました。これは、インターネットや郵便などを利用して未払い料金があるなど架空の事実を口実に料金を請求して、現金を振り込ませたり、レターパックなどで現金を送付させたりする手口の詐欺です。また、市役所などの職員を装い、医療費の還付金などを

■街頭啓発を実施

7月1日～31日の「社会を明るくする運動」月間に合わせて、同運動推進委員会が啓発物品の配布などをします。

とき・ところ 7月1日(水)午前10時～11時

※市民集会を7月11日(土)にラブリールホールで実施▽詳しくは来月号の本紙などお知らせします。

問い合わせ 生活福祉課

に参加するなど、コミュニケーションを深めておきましょう。

また、次のことを実施して、一人ひとりが土砂災害に備えましょう。

◎停電や夜間の避難に備え、懐中電灯や携帯ラジオの準備、点検を行う。

◎事前に避難場所や避難経路を把握し、高齢者や体の不自由な人のいる家庭では安全な避難方法と具体的な行動を考えておく。

◎大雨時はテレビやラジオの気象情報に注意し、避難指示があれば直ちに避難する。

◎自宅周辺や避難経路上で、がけ崩れや土石流の発生する恐れのある危険な場所を防災ガイドマップなどで把握し、おかしいと思ったら早めに避難する。

問い合わせ 危機管理課

■「土砂災害防止法」に基づく区域指定

平成25年度に実施した土砂災害警戒区域等の調査結果に基づき、新たに区域が指定されました。指定箇所は府ホームページで確認できます。

問い合わせ 公園河川課、危機管理課、府富田土木事務所建設課（☎25・1131）



の手続きをすると偽って、ATM（現金自動預払機）から現金を振り込ませようとする「還付金詐欺」も急増しています。

問い合わせ 府治安対策課
(☎06・6941・0351)

社会を明るくする運動

■街頭啓発を実施

7月1日～31日の「社会を明るくする運動」月間に合わせて、同運動推進委員会が啓発物品の配布などをします。

とき・ところ 7月1日(水)午前10時～11時

※市民集会を7月11日(土)にラブリールホールで実施▽詳しくは来月号の本紙などお知らせします。

問い合わせ 生活福祉課



1 2 オリジナル製品をつくる設備の大半は自社技術で賄います
3 製品を説明する井上佳典社長 4 樹脂管用の「スナップ継手」

かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

作

創

世界初の メカニカル継手を開発 東尾メック株式会社

水道や空調などの配管用継手（つぎて）メーカー・東尾メック（株）。65年の歴史を振り返りながら、井上佳典社長は「管の種類の変化に対応し、社員一丸となって新しい継手を生み出してきた」と胸を張ります。

鋳物分野のマレアップル（可鍛鋳鉄）継手が同社の原点。昭和40年代に、鋼管の内面が錆びて起こる赤水が社会問題化し、業界は転換期を迎えます。腐食を防ぐため、内部に塩化ビニールを施した複合鋼管継手が主流に。東尾光紹（みつあき）社長は当時、「パ



東尾メック株式会社
1950年（昭和25年）3月設立

「漏れない・抜けない・簡単接続」をコンセプトに、革新的な方法で接続するメカニカル継手を開発し、国内外の特許を多数取得。本社の河内鋳物師の里「鋳物資料館」には、創業からの製品を展示し、その変遷を紹介している。菊水町 8-22 ☎ 53-2281 <http://www.mech.co.jp/>

イブと継手をセットで販売できないか」と考え、パイプメーカーとの業務提携を取り付け販路を拡大。以降その分野で業界屈指のシェアを獲得してきました。

しかし、阪神・淡路大震災をきっかけに試験が訪れます。堅くて強い鋼管配管が耐震面での脆さを露呈。円高などによる輸出減や規制緩和も加わり、マレアップル継手から樹脂管などの多様な継手にシフトすることになりました。

管種変更の時代が到来し、「性能が問われるようになった」。井上社長は話します。製品開発チームだけでなく、協力企業の井上スダレ（株）とともに新たな開発への挑戦が始まりました。こうして生まれた主要製品、樹脂管用の「ス

ナップ継手」は、パイプを差し込むだけのワンタッチ施工で、接続時に音がして施工完了を確認できることが特長。また、フロンガス対策を講じた冷媒配管用継手「おっぞんくん」は、従来の火を使う施工ではなく、安全な無火気工法を実現しました。

「今後は新興国など海外でも受け入れられる製品を提案し、将来に向けて人材や事業を育てていきたい」と井上社長。次世代を見据えた挑戦がこれからも続いています。



▲冷媒配管用継手
「おっぞんくん」

※今月号から「かわちながのものづくり探訪」の連載（隔月）を開始します。企業などの生産現場を訪ね、技術力や独創性などを紹介していきます。

第2回 支える人がいるからこそ、人は成長する

錦織圭選手は、昨年の全米オープンで、準優勝しました。テニスの有名な大会グランドスラムでの決勝進出は日本人男子として初の快挙です。今年になって世界ランク4位まで上り詰めました。

錦織選手は、父の勧めでテニススクールへ通い練習を始めました。小学6年生のときに全国のジュニア選手権大会で優勝し、松岡修造さんに呼ばれて指導も受けました。

2013年、世界ランク11位まで上げましたが、成績が伸びずにいた翌年に、マイケル・チャンをコーチとして招

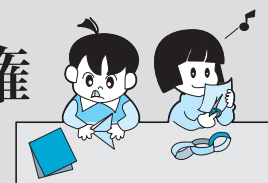
き、指導を受けます。そのマイケルチャンが、錦織選手に教えたことは、「もう一度努力すること」でした。

チャンコーチの指導は、厳しく、午前中に2時間半、午後に2時間のコートでのプレー。さらにそのあとに2時間の筋トレ。練習が終わるといつも暗くなっていました。すべての練習は密度が濃く、部屋に倒れこんでしまい、家族とも話せないような日々が続いたといえます。錦織選手も厳しい練習に「もうチャンの練習は嫌だ」と漏らしたそうです。しかし、チャンコー

花も美しい 月も美しい
それに
気がつくころ
が美しい

KAORU
KUSUNOKI
楠木 薫

子どもの人権 110番



いじめや不登校、体罰、虐待など子どもの人権に関する相談に専門委員が応じます（秘密厳守）。

とき 6月22日（月）～28日（日）午前8時30分～午後7時▷27日（土）・28日（日）は午前10時～午後5時▷この期間以外は平日午前8時30分～午後5時15分

相談電話 0120-007-110

問い合わせ 大阪法務局 ☎ 06-6942-9496

チは「こんな練習でグランドスラムで優勝できると思うてるのか？質も量も少なすぎる」と逆に叱ったそうです。

厳しい練習をし、自分を追い込み、その辛さを乗り越えたとき、より強くたくましい精神力が宿るようになる。チャンコーチの本当の意味をくみ取った錦織選手は、厳しい練習に打ち込み、強靱な精神力を手にして、大きな飛躍を遂げたのです。そして、ついに彼は、世界ランクベスト

4に入ることができたのです。どんなに素晴らしい選手でも、トップ選手になるためには必ず両親、コーチ、スタッフの献身的な支えが必要です。そういった人々の支えを力に変えたからこそ、錦織圭選手は世界のトップ選手にたどり着くことができたのです。

※平成27年5月22日現在、錦織選手の世界ランクは6位となっています。

**健康**

問い合わせ 保健センター
〒556-0001 2 菊水町2の13
(☎55・03001)
※対象の記載がない同センターの事業は市民が対象。

青年・成人健康診査(有料)

対象 昭和51年4月～平成12年4月1日生まれで、学校や勤務先で健診を受ける機会のない市民

とき・ところ 6月4日(木)午前9時30分～11時30分 三日月市民ホール(フオレスト三日月市内)、19日(金)午後1時～3時 障がい者福祉センターあかみね

内容 身体測定、医師の診察、血圧測定、検尿、血液検査

※診断書の発行はできません。

費用 500円

※当日直接会場へ▽生活保護世帯の人は事前に保健センターへ問い合わせを。

たばこ相談(予約制)

対象 たばこをやめたい市民

とき 6月22日(月)午後2時～

すこやか体操教室

握力や身体の高さを測定し、体力年齢を測定します

対象 65歳以上の市民

とき・ところ ①6月24日(水)キックス、②29日(月)三日月市民ホール(フオレスト三日月市内)▽時間はいずれも午前9時45分～11時45分

定員 各30人(先着順)▽①②いずれかのみ

申し込み 6月5日から電話でいきいき高齢課へ

問い合わせ いきいき高齢課

介護保険相談員を募集

介護保険相談員は、市から委嘱を受けて、介護保険サービスを利用している高齢者の身近な相談相手として活動するボランティアです。

活動内容 所定の研修を受講後、介護保険施設などを定期的に訪問し、利用者の意見などを報告

募集人数 5人(選考)

申し込み 介護保険課にある応募用紙で6月15日(必着)までに同課へ

問い合わせ 介護保険課

認知症パートナー養成講座

認知症の人との接し方などを学びます。

対象 認知症の人へのボランティアとして活動したい人

とき ①7月2日(木)②9日(木)③16日(木)④23日(木)▷時間は①が午前9時30分～午後4時、②④が午前10時～午後4時、③が午前10時～正午
※別の日に半日実習もあります。

ところ 市役所

定員 15人(先着順)

申し込み 6月5日から電話でいきいき高齢課へ

問い合わせ いきいき高齢課

介護支援専門員資格の更新を

介護支援専門員の資格は5年ごとに更新が必要です。資格の有効期間満了日までに更新研修を修了したうえで、更新の申請手続きをしてください。手続きなど詳しくは問い合わせを。

問い合わせ 大阪介護支援専門員協会
(☎06-6390-4010)

府介護支援専門員実務研修受講試験

とき 10月11日(日)午前10時～

申し込み 介護保険課などにある申込書で6月22日までに(一財)府地域福祉推進財団へ

問い合わせ 府地域福祉推進財団
(☎06-6763-8044)

施設などでカラオケを開催するときは

NPO法人カラオケメイトかわちながのは、高齢者施設などで定期的に開催されるカラオケタイムなどで、施設利用者に歌う機会を提供することで、音楽療法やリハビリの一助となることを目的に活動しています。施設で定期的なサポートを希望される場合は連絡してください。

※詳しくは問い合わせを。

問い合わせ 同法人の毛尾さん(☎63-0602)

高齢者の運動教室

■ヨガ

対象 運動ができる65歳以上の市内在住者

とき 6月15日(月)午後3時～4時30分

ところ 三日月市民ホール(フオレスト三日月市内)

定員 15人(先着順)

参加費 500円(当日徴収)

申し込み 6月6日～15日に電話かファクス(住所、氏名、ふりがな、年齢、性別、電話番号を記入)で健康スポーツ

聴覚障がい者サロン

■ゲームを楽しみましょう

対象 市内在住の聴覚障がい者

とき 6月15日(月)午後1時～2時30分

ところ 障がい者福祉センターあかみね

定員 8人(先着順)

申し込み 6月5日～12日にピアセンターかわちながのへ

問い合わせ ピアセンターかわちながの(☎56・1690、FAX56・1692)

対象 市内在住の精神障がい者保健福祉手帳所持者

とき 6月21日(日)午前10時～11時30分

ところ 福祉センター錦溪苑



4時

ところ 保健センター

内容 卒煙方法のアドバイスなど

申し込み 電話で同センターへ

理学療法士による相談(予約制)

理学療法士が個人に合った運動プログラムを作成します。

対象 介護認定を受けていない40歳以上の市民▽利用は原則1回のみ

とき 6月26日(金)、7月24日(金)午前9時30分～正午

ところ 保健センター▽自宅への訪問もできます

申し込み 電話で同センターへ

健康づくり推進員と楽しむ催し・講座

①ちよこつとハイック初夏の寺ヶ池を訪れる

とき 6月10日(水)午前10時～正午▽受付は午前9時30分～

▽雨天中止

集合・解散 保健センター行き先 中村池公園～寺ヶ池公園(約6^キ)

持ち物 飲み物、タオル

高齢者

※当日直接集合場所へ。

②体操教室

肩こり・腰痛・転倒予防の運動やストレッチをします。

健康寿命を伸ばしましょう。

とき 7月2日(木)午後2時～3時30分

ところ キックス

定員 50人(先着順)

申し込み 6月5日から電話で保健センターへ

介護保険負担限度額制度などの申請を

■負担限度額制度(食費・居住費の減額)の対象要件が変わりました

介護保険施設へ入所(短期を含む)した際に、自己負担となる食費と居住費(滞在費)を軽減できる負担限度額制度の対象要件が変更になりました。新しい対象要件は次のとおりです。この制度の利用を希望される人は、6月中に申請の手続きをしてください。

要件 世帯全員(世帯が異なる配偶者を含む)が市民税非

課税で、預貯金・有価証券・投資信託などが一定額(単身1000万円、夫婦2000万円)以下の人

■高額介護サービス費受領委任払い制度

介護サービス利用者が府内の介護保険施設に月の初日から末日まで継続して入所した場合、利用者負担額(1割または2割)が高額になっても、申請すると上限額まで減額されます(上限額は世帯課税状況などにより異なります)。施設入所者でこの制度の利用を希望する人は、6月中に申請の手続きをしてください。

※いづれも年度ごとに手続きが必要で▽詳しくは問い合わせを。

いきいき介護教室

家族の介護をしている市内在住者を対象にした催しです。

①みんなで歌って!ここを元気に!

ピアノ伴奏に合わせて、昭和の歌謡曲をみんなで歌います。交流会もあります。

とき 6月19日(金)午後1時30分

分～3時30分

ところ ラブリーホール

申し込み・問い合わせ 東部地域包括支援センター(☎52・0180)

②ミニサロン～みんな集まれ!花で心のリフレッシュをしましょう!

とき 6月26日(金)午前11時～午後1時

ところ 府立花の文化園

内容 園庭鑑賞と交流会

参加費 500円(入園料)

申し込み・問い合わせ 西部地域包括支援センター(☎56・6600)

リフレッシュ教室

心と体をリフレッシュさせる方法などを学びます。

対象 65歳以上の市民

とき 6月26日(金)、7月3日(金)・17日(金)・31日(金)午前10時～正午▽4回シリーズ

ところ 保健センター

定員 20人(先着順)

申し込み 6月5日から電話でいきいき高齢課へ

問い合わせ いきいき高齢課

定員 10人(抽選)

申し込み 6月16日までに障がい者福祉センターあかみねへ

問い合わせ 障がい者福祉センターあかみね(☎56・1590、FAX56・1592)

19移動動物園では、ポニーに乗ったり、ひよこなどの動物とふれあいました2モックルも会場を散策3小学生が描いた笑顔のイラストの前では、たくさんの人が足を止めていました45丸太切りやモンキーブリッジを体験6ミニSLに親子で楽しく乗車7おばあちゃんへお手紙をつくりました8市長も輪投げに挑戦



フォト
特集

第23回 河内 長野市民まつり だいすき!! 自然いっぱい 楽しい奥河内♪

「第23回河内長野市民まつり」(市民まつり実行委員会主催・上野修二実行委員長)が5月10日、寺ヶ池公園と小山田小学校で開催されました。晴天となったこの日、約4万5000人が来場し、楽しいひとときを過ごしました。



12手打ちそばのゆで加減を見る職人さん1314模擬店コーナーでは、目当ての物を買求める人で賑わいました15金魚すくいなどを楽しむ姿が見られました



1011ステージではダンスやダブルダッチなどが披露され、会場を大いに盛り上げていました